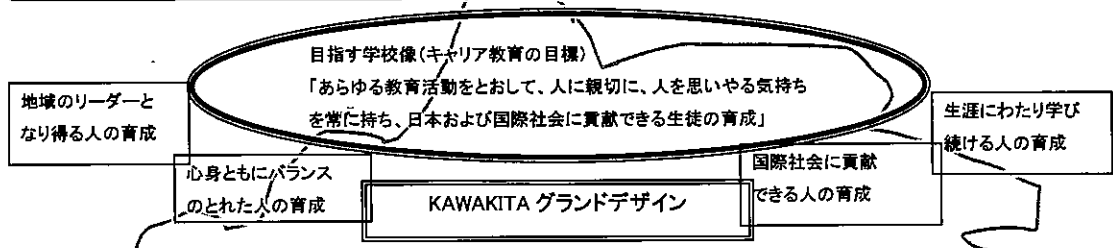


H25 KAWAKITA キャリアアツリー



川口北高校におけるキャリア教育のとらえ方

- 1 明るく前向きな未来を創造するために、目先のことにとらわれず、先を見据える力を育み、変化を楽しむ姿勢を身につける。
- 2 幅広い教養を身につけ、成功や失敗を数多く経験することで、自ら判断・決断し行動する能力を高める。
- 3 たくさんの人とのかかわりの中で、自分を認め、他者を思いやり、感謝の気持ちを行動に表せる態度を培う。

1学年
失敗や挫折から学び、そこから立ち上がる強たくましい心と身体を鍛える。そして、川口北高校生徒としての誇りを持った行動ができる生徒を育てる。

2学年
他者を理解し、他者に働きかける活動をより一層充実させ、リーダーシップを育成する。また、修学旅行や総合学習、LHRなどの学習活動の中で、自己理解を深め自己肯定する姿勢を育み、キャリアを形成していく能力を身につけ、KAWAKITA グランドデザインの「心身ともにバランスのとれた人」を育成する。

3学年
希望する進路に向け、HR合宿やSL-Timeなど自学自習の計画と実践に取り組む。さらにLHR、学校行事や学校生活の中から、自己を見つめなおすだけでなく、他者との関わりを実感し、自らの生き方・在り方、社会性を身につけていく。

家庭科
自己をみつめ家庭について考え、自立した自分の生き方を構築し、生涯を見通して主体的に生きる力(自己理解・自己管理能力)を育成する。
また、将来設計を通して、生活の営みと働くことの意義を理解し、生涯にわたり学び続ける人を育成する。

情報科
情報機器を操作するスキルを身につけるとともに、それを活用して正しい情報を取捨選択できる態度を育成する。

地歴・公民科
資料の精読や記述・論述の訓練を積極的にを行い、論理的思考を支える言語能力の育成を図る。幅広い知識に触れ、深い探求を経験することにより、多様な歴史・思想を理解する力や本質を考える力を養い、国際社会に貢献する人材を育成する。

理科
授業や実験・観察を通して、「身近な事象・現象に関心をもつ意識」を高め、「科学的な考え方、見方」、「課題対応能力」を育成する。
また、地球・社会に生きる一員として、科学技術の進歩と環境・人間生活との関わりについて、「現在の問題点や未来への課題を考える意識」を高めさせる。

芸術科
芸術の幅広い創造的な活動を通して、芸術に対する豊かな感性を育て「心身ともにバランスのとれた人の育成」を実現する。また、芸術文化への理解を深め、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てる。

国語科
国語総合や現代文、古典の授業を通じ、自ら調べ発表する場を設ける。具体的な問題意識を持ち、情報を取捨選択する能力を養うとともに、より効率的に相手に伝えるコミュニケーション能力を高める。〔「キャリアプランニング能力」〕
それぞれの作者・筆者の考えを考察したり、発表を元に議論を重ねたりすることで、他者の立場を理解し、多様な意見を受け止めた上で自分の考えを持ち、さらにその考えを意見として正確に伝える「人間関係性能力」を育む。結果として他者と相互に尊重し合い、協力・協働しながら国際力をつける。

数学科
事象を数学的に考察し筋道を立てて考えさせ、一つ一つの問題が解決したときの喜び、達成感、そして努力の成果を体験させる。じっくり自分で考える力や、確かな学力を身につかせ、KAWAKITA グランドデザインの「生涯にわたり学び続ける人」を育成する。

英語科
英語を通じて、言語や文化に対する関心を高め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を育成する。また、情報や考えを的確に理解し、適切に伝えられる能力を育み、「国際社会に貢献できる人」を育成する。

事務室
事務職員(社会人)として、日々の生徒との係りの中で接遇の大切さを示し、生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。
また、事務職員自らが「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき立場や役割を実践することで、生徒の労働意欲を高める。

保健室
保健室における健康相談活動を通して、生徒一人ひとりへのかわりを大切にしながら、自己への気付きを導くことで自己肯定感を高め、自己実現に向けての支援を行う。すべての基本は心身の健康である。自分で自分の健康をコントロールできるような自己管理能力を持った生徒を育成する。
また、他者の考えや立場を理解し、自分の気持ちや意思を伝えることができるコミュニケーション能力をもった生徒を育成する。

保健体育科
心と体を一体とらえ、明るく豊かな活力ある生活を営む態度を育てるために、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続させる資質や能力を育て、健康の保持増進のための実践力の向上や体力の向上を図る。そのことにより「心身ともにバランスのとれた人」を目指し「生涯にわたり学び続ける」力を養う。
また、「人間関係形成・社会形成能力」に関わる、公正、協力、責任、夢などの資質・態度を、平常の授業ではもちろん、体育的行事も通じて養っていく。

教育情報部
生徒にとって必要な情報を提供して、生徒一人ひとりの目標やモチベーションを高めるよう努める。また、正しい情報モラルを持った生徒を育成する。

渉外部
PTA後援会と学校との連携を図り、KAWAKITA グランドデザインを目指した人材育成を支援・援助する。

進路指導部
進路オリ等を通して、目先の進路だけにとらわれず、5年先、10年先の自分と社会をポジティブに想像(創造)する力を育てる。

保健環境部
生徒一人ひとりが美化活動に自らの意志で取り組むことにより、目先のことにとらわれず、先を見据える力を育み、変化を楽しむ姿勢を身につける。そして、人を思いやる気持ちを育成する。
保健活動に取り組むことにより、自分で自分の健康をコントロールできるような自己管理能力を持ち、かつ、心身ともにバランスのとれた生徒を育成する。

生徒指導部
社会的な自己指導能力を育成し、自分の立場や役割の中で、的確な行動が取れる人物を養成する。

教務部
教育課程に基づいた時間割の編成や日程の調整において、各科目の授業をバランス良く、より多く配分することに努め、生徒が幅広い教養を身につけるための学習の機会と環境を整える。
また、読書の質や量を向上させることで知識・教養を深め、読解力が高まり、物事を深く考えることを通じて先を見通す力を育むことができるような図書教育の推進に努める。

川口北高校のキャリア教育理念

- 1 あらゆる教育活動の主人公は生徒であり、生徒のことを第一に考える。
- 2 あらゆる教育活動を生徒一人一人の人生(キャリア)を見据えて行う。
- 3 あらゆる教育活動を生徒の成長のチャンスと捉え、教科、分掌、学年、部活動がその枠を越え連携する。